

asiam — アザイム —

“asiam”は「ありのまま」「私らしく」を表現する“as I am”から生まれた言葉で、
「自分らしく生きる」という女子学生の思いが込められています
みなさんの未来が、あなたらしく、ありのままの人生でありますように

asiam アザイム

私らしく生きるストーリー集

国立大学法人大阪大学 男女協働推進センター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
TEL: 06-6105-5988 FAX: 06-6879-4406
MAIL: gecenter-gea@ml.office.osaka-u.ac.jp
<http://www.diver.danjo.osaka-u.ac.jp/>

監修: 大阪大学 クリエイティブユニット

発行: 2020年3月

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」



これまでを超えるこれからの。

挑戦する女性の力が、
きっと社会を変えていくはずです。
もっとしなやかで、
もっと多様な男女協働に向けて、
フロントランナーとなる女性研究者、
そして男性研究者が、
これまでと、実践する今と、これからの伝えます。
自分の力で未来を切り拓こうとする女性たちの
心強いビジョンとなることを願って。

私立東洋大学附属牛久高校
東洋大学社会学部応用社会学科
米国留学
東京大学工学部金属工学科
先端科学技術研究センター 補佐員
シンガポール系商社バンコク支店
セールスコーディネーター
東京大学先端科学技術研究センター
科学技術振興特任教員
大阪大学接合科学研究所 特任研究員
大阪大学工学研究科博士学位取得
大阪大学接合科学研究所 助教
同研究所 准教授

Role model

梅田 純子 Junko Umeda

大阪大学接合科学研究所 准教授



ここまで頑張れたのは、 皆さんが温かく見守ってくれたから。

流れに逆らわず、気負わず、理系研究者へ

大学で福祉社会学を学び、米国留学後も場所は研究室とはいえ、秘書や産学連携のコーディネーターなどを務めていました。ところが、現在も指導をおおぐ近藤勝義先生が大阪大学へ異動されるのを機に、研究者への転身を進められ、この道を歩むことになりました。同じ分野の研究者である父の影響もあり、全くの未開の地に足を踏み入れるという気負いや不安はあまりありませんでした。

私の研究テーマは、靱殻からシリカを抽出するという、まだ誰も手をつけていなかった新しい領域です。植物由来の靱殻はナノサイ

ズで観察していくと無数の穴が空いており、活性化することでさまざまなものを吸着する能力があることが分かってきました。現在、この靱殻シリカはコンクリートへの活用が進められています。靱殻シリカを混ぜたコンクリートは、凝固スピードが速くなり、強度も30%高くなることが実証されています。この特性を活かし、10万年もの耐久性が求められる核廃棄物最終処分場の地下施設の材料としての適合性を確かめる実験が始まっています。

近藤先生が私に何らかの可能性を感じて研究者へと導いてくださったとはいえ、こんなチャンスは誰にでも与えられるものではありません。それならば、流れに逆らわず身を委ねてみよう。でも、ここまで頑張れるとは思っていませんでした。

この場に立ち尽くしているわけにはいかない

研究者としてのスタートは、現在の接合科学研究所での特任研究員でした。失敗のように見えても実はその中にヒントが隠されていたり、理論を構築していかなければならぬ

困難があったりするなど文系のものの考え方とは異なる、考える作業の重さをはじめで知りました。しかしながら私が一番苦しかったのは、理系出身であれば当然備わっているはずの知識が足りない事実と現実の立場とのギャップでした。

特にドクターを取得し、助教となってからは「こんな私が」と萎縮し、自分自身でプレッシャーをかけていました。研究者とは、先生とはこうあるべきという思いに駆られ、「研究室から一步も出たくない」「文系出身とか言わないで」と心の中で叫んでいました。でも、次第に周りの先生方や学生たちが手を差し伸べてくれていることに気づき、「分からないことは素直に尋ねて吸収し、追いつけないのだ」と思えるようになりました。たくさんの人たちが温かい目で見守ってくれている中で、そのまま立ち尽くしているわけにはいかなかったのです。

接合科学研究所は先生方との距離が近く、事務職の方も含めてアットホームな雰囲気があります。振り返ってみれば、文系出身だか



らと色眼鏡で見られたり、ましてや女性だということでの苦労はありませんでした。もちろん、今でも葛藤がないわけではありませんが、最も厚い壁は私の心の中にあったのです。

女子学生がさらに一步踏み出せるように

男女協働推進センターの兼任教員への就任を機に、理系への進学を希望する女子中高生向けのイベント『ハンドメイドフェス!!』では運営を任せ、女子学生がさらに活躍できるように力を注いでいます。2018年度は、多くの理学系女子学生が運営に携わり、充実した内容で開催することができました。参加した女子学生たちのモチベーションアップにもつながり、以後、彼女たちの活動の幅がど

んどん広がっています。私は、一教員としての役割とともに、近所のおばちゃん的な感覚で気軽に相談に乗り、彼女たちが笑顔でさらに一步踏み出せるように力になりたいと思っています。文系出身ながらここまで歩んでこられた研究者としての経験が役立つかもしれません。

それにしても、彼女たちは本当にパワフルです。研究活動に熱心に取り組みながら、趣味やアルバイトもきちんとして毎日楽しそう。私たち教員も、日々楽しく研究に取り組まなければならないと思わせてくれます。

人と違うことに誇りを持って

研究者には、体力と忍耐、さらに自分に打

ち勝つ強い心が必要です。そして、打ち勝てるのは好きなことだからこそ。私の場合は誰も取り組んでいない靱殻だったのですが、自分が面白いと思えば、他人に何を言われようと挑戦してみるべきです。この研究テーマやちょっと遠回りした経歴にしても、私自身がそうだったように、女子学生の皆さんは自分の人生は自分のものと捉え、人と違うことに誇りを持って挑戦してほしいと思います。

国内外の研究の場を転々としても面白いですよ。私も経験がありますが、若い頃に築いたネットワークは、後々いろいろなところで必ず生きてきます。自分を信じてまっすぐ進むことができれば、何でもできる。今はそんないい時代だと思います。



最も影響を受けたのは?

スキーインストラクターの経験を通じて、目標達成までとことん打ち込むことを学んだ。



役に立ったのは?

趣味で始めた茶道だったが、言葉遣いやコミュニケーション力を養うことができた。



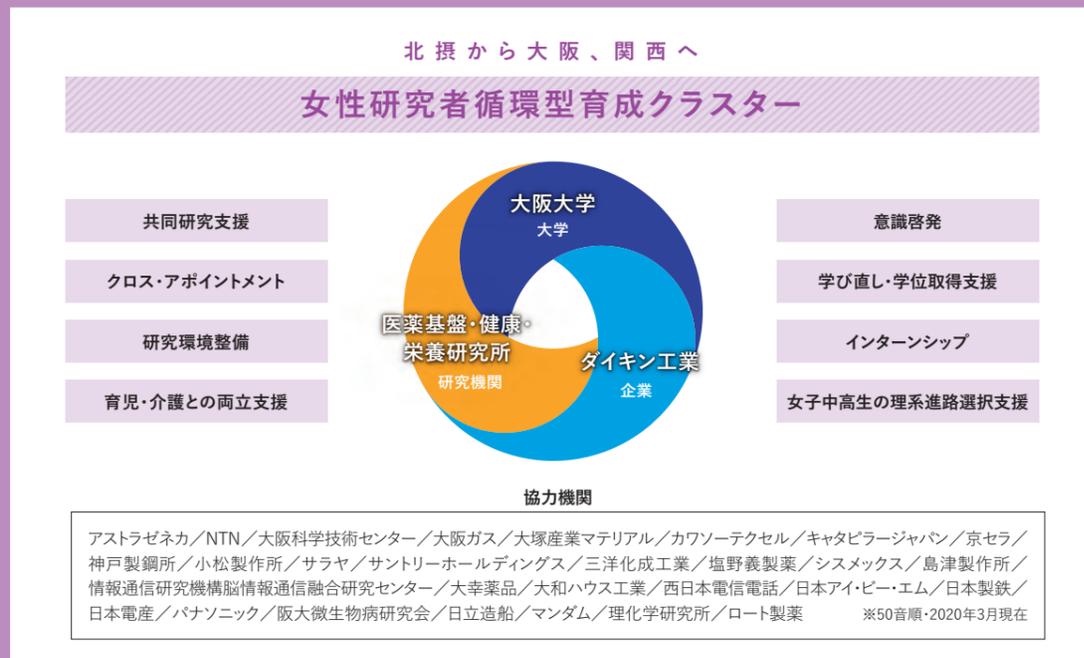
お気に入り?

好きなピアスとヘアアクセサリーを身に着けると、今日も楽しく頑張ろうとテンションアップ!



剛く柔らかかに生きる物語を紡ぐプロジェクトが 始動しています。

大阪大学は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、ダイキン工業株式会社を中心に、協力機関である企業、研究機関等とともに、「女性研究者循環型育成クラスター」を形成しました。大学や企業等の壁を超え、女性研究者の研究力向上や研究リーダーの育成に取り組み、未来につながる多様なキャリアパスを提供しています。



安本 千晶
ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター IAQ技術グループ
大阪大学工学研究科 特任助教(常勤)



夏目 やよい
医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター
バイオインフォマティクスプロジェクト サブプロジェクトリーダー



新田 直子
大阪大学工学研究科 准教授



興味を仕事にでき、
社会に貢献できること
の幸せ。

安本 千晶
Chiaki Yasumoto

ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター
IAQ技術グループ
大阪大学工学研究科 特任助教(常勤)

千葉県立千葉高校普通科
お茶の水女子大学生活科学部食物栄養学科
ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター
IAQ技術グループ
クロス・アポイントメント制度により
大阪大学工学研究科 特任助教(常勤)

研究について

近年、寝苦しい夜が続く日本の夏では、エアコンを運転したまま眠る人も増えていますが、設定温度が睡眠時には適当でなく、ぐっすり眠れなかったり、温度変更のために目覚めるといった悩みも増えています。睡眠中の適温は一定ではなく、睡眠の進行に伴って変化すると考えられており、また個人差もあります。そのため私たちは被験者の協力のもと、睡眠中の人の生理情報や部屋の温熱環境のデータを取得し、一晩ぐっすり眠るための条件について研究しています。

直近の目標は、夏の暑さで眠れないといった寝室温熱環境の悩みを一人でも多く改善する商品をつくること。睡眠不足による経済損失は数兆円ともいわれており、よく眠ることはその人だけに良い結果をもたらすだけでなく、日本全体にとってもプラスになります。現在は、一般成人を対象として研究を行っていますが、今後は、高齢者や子どもなどライフステージ別に特化した困りごとに対応していきたいと考えています。

大阪大学との産学クロス・アポイントメント

大阪大学とは以前から、睡眠に関する共同研究に取り組んできました。医学や歯学などの異なる分野の先生方との連携によるイノベティブな研究を通じて、社内で十分に所有できていなかった技術の蓄積につながっていると思います。

さらに大学の身分を持つことで、学内の人脈形成などが円滑になりました。高度で専門的な知識を持つ先生方との交流は、次の研究課題の種になりそうな情報に溢れ、常に刺激を受けています。大学に直に触れる機会が増えたことから、お互いのスムーズな研究活動のために一歩踏み込んで取り組めるようになったと思います。

研究者になって良かったと思うこと

興味のあることを仕事にしながら、社会に貢献できるのは幸せなことです。私が研究対象としている睡眠についての悩みは人によってさまざまですが、一つでも解決できた時のインパクトは大きいと考えています。

ワークライフバランスについて

まず、仕事も生活も自分にとっての100%のゴールとは何かを把握するようにしています。そうすれば妥協策を請じ、無理をしないで済みます。そもそもゴールが分からずモヤモヤする時期もありますが、気楽に考えるようにしています。

クロス・アポイントメント制度とは

研究者が二つ以上の機関(大学、研究機関、企業など)に雇用されつつ、それぞれの機関における役割に応じて研究、開発及び教育を行うことを可能にする制度です。大阪大学では、全国に先駆けてダイキン工業女性研究者を大阪大学教員として受け入れたことを契機に、協力機関にも波及し、現在は多くの企業から女性研究者を受け入れています。



大阪大学共同研究者の加藤隆史教授(歯学研究科)と

コンピュータを駆使し、
いつか生物学の
真理に。

夏目 やよい

Yayoi Natsume-kitatani

医薬基盤・健康・栄養研究所
AI健康・医薬研究センター
バイオインフォマティクスプロジェクト
サブプロジェクトリーダー

私立関東学院高校
↓
東京大学農学部生命化学専修
↓
東京大学農学生命科学研究科応用生命化学専攻修士課程
↓
東京大学農学生命科学研究科応用生命化学専攻博士後期課程
(日本学術振興会 特別研究員DC)
↓
京都大学化学研究所附属
↓
バイオインフォマティクスセンター 特定研究員
↓
JSTさきがけ専任研究員(エビジュネティクスの制御と生命機能)
↓
医薬基盤・健康・栄養研究所 プロジェクト研究員
↓
同研究所 研究員
↓
同研究所 サブプロジェクトリーダー
↓
同研究所 AI健康・医薬研究センター
↓
バイオインフォマティクスプロジェクト サブプロジェクトリーダー



研究について

コンピュータを使って生物学の研究をする、バイオインフォマティクスと呼ばれる分野が専門です。大学院では野菜に含まれる成分(フラボノイド)の研究をしていました。その時にバイオインフォマティクスの難しさや可能性を感じて、卒業後からはずっとコンピュータを駆使した研究を行っています。

目指しているのは、コンピュータなしでは知りえなかった生物学の真理に出会うこと。実は、生きる仕組みについて、私たちはまだ知らないことだらけで、生物学者はそれぞれの得意な手段で少しずつその仕組みを解明しようとしています。そのような先人の知恵や努力と日々進歩するコンピュータの力を融合することで、この難しい問題に挑戦したいと思っています。

大阪大学との共同研究

大阪大学蛋白質研究所(当時)の土屋裕子先生との共同研究では、抗がん剤や免疫

賦活剤の有力なターゲットとして近年注目を集めているタンパク質の新規活性化リガンドをコンピュータで見つけ出す手法の開発を行っていました。

私たちはたまたま以前から交流があり、共同研究期間中はメールでのやり取りが主ではありましたが、それでもやはり一緒に良い仕事をするためにはお互いの人となりを知るのには重要だと思っています。土屋先生はタンパク質の立体構造がご専門ですが、そのような異分野の研究者の話聞くことができ、知的好奇心のブーストにつながりました。

理系への進路を目指したきっかけ

ザリガニ取りなどの遊びが好きだったように昔から生物に興味があり、私にとっては自然な流れだったように思います。この道に進むのか若干の迷いがあった時、ある教授(女性)から「別に(ライフイベントなどで)出世なんて遅れたっていいよ、どうせ女の方が長生きするし」と笑顔で言われたことは今でも忘れられません。

今までで一番大変だったこと

現在の専門に変えたタイミングで結婚・引越が重なり、何一つ自信を持って満足にできなくなった時期がありました。仕事では学術分野が違いすぎて努力の仕方すら分からず、家に帰れば「家事を頑張らない」と気負い、初めての土地で友だちをつくらなければと自分を追い込んでいました。毎日を丁寧に生き、コツコツと積み重ねていくことで今につながったと思います。

ワークライフバランスについて

夫に頼りっぱなしです。家事・育児の半分以上をやってくれるので、出張で家を空ける時なども安心して仕事に打ち込めます。ただ、これが当たり前だと思わないように自分に言い聞かせ、家を空けた分は家族サービス(一緒に遊びに行くなど)をするように心掛けています。「お母ちゃんはハカセやねん」という子どもの言葉に励まされます。私の仕事を誇りに思ってくれているようです。

一人で
達成できることは
限られている。
もっと共同研究の場へ。

新田 直子

Naoko Nitta

大阪大学工学研究科
准教授

私立親和女子高校
↓
大阪大学基礎工学部情報工学科
↓
大阪大学基礎工学研究科情報数理系専攻博士前期課程
↓
大阪大学基礎工学研究科情報数理系専攻博士後期課程
(日本学術振興会 特別研究員DC)
↓
コロンビア大学 客員研究員
↓
大阪大学工学研究科 特任研究員
↓
同研究科 助手
↓
同研究科 助教
↓
同研究科 講師
↓
同研究科 准教授



研究について

マルチメディアデータには、テレビで放送されるような編集された映像の他に、監視映像やソーシャルメディアに投稿されるテキスト、画像、映像などさまざまなものがあります。それらを対象に、機械学習などの技術を用いて何が写っているかをコンピュータに理解させるコンテンツ認識や、個々のユーザなどに適切なものを抽出する情報検索、さらに条件に合わせて新しいマルチメディアデータをつくるコンテンツ生成などを実現するための研究を行っています。

最近ではソーシャルメディアへの不特定多数のユーザからの投稿をまとめて、世界中のどこで何が人々により観測されているかといった知識を獲得する、実世界センシングに関する研究を行っています。

ダイキン工業との共同研究

世界中に気象状況や開花情報などを伝えるライブカメラが設置されていますが、設

置数は極めて少なく、定点観測以外の有効な活用には至っていません。ダイキン工業との共同研究では、任意の場所における現在の気象状況などを伝える画像を、公開されている気象センサから得られる情報で疑似的に生成する研究を行っています。

普段接することのない異なる分野の研究者と議論でき、実際のニーズなど技術的な面以外でも新たな知見が得られるなど、共同研究の大きなメリットを感じています。

研究者になって良かったこと

時にはトップレベルの研究者の方とも交流する中、いつでも対等な立場で扱ってもらえることが研究者という職業の良い点だと思います。また、研究職の多くは裁量労働制なので、比較的育児と両立しやすいと感じています。

よく言われるような研究を通しての充実感や達成感も、逆に挫折感もあまり感じることはありません。研究に限らず仕事には終わりがなく、気分や状況に影響を受けたくはないとも思っているので、おそらく私は淡々と仕事を進めるタイプですね。

ワークライフバランスについて

保育園の迎えは、夫とだいたい均等に担当。担当しない日は、相手に任せて帰宅時間は自由にしています。そんな毎日なので平日に両親が揃うことは少なく、その分、休日にはできるだけ家族全員で過ごすようにしています。家庭のことは全て夫ときちんと折半し、お互いに仕事も家庭も大切にできるようにしていきたいと思っています。

研究における目標や夢

一人で達成できることは限られるので、他の研究者との共同研究は増やしていきたいと思っています。特に研究で利用する大量のデータを収集することが難しく、大量のデータを持つ企業などと現実的なデータを共同研究を行うことを常に理想としています。

現在は仕事と育児の両立に奮闘中。ここを乗り越え、またコツコツと研究を進められる状況になるまで、楽しみながら頑張ろうと思っています。

泣き笑い!

女性研究者のキャリア・チャート

大学の研究者の場合



朝日 陽子 Yoko Asahi

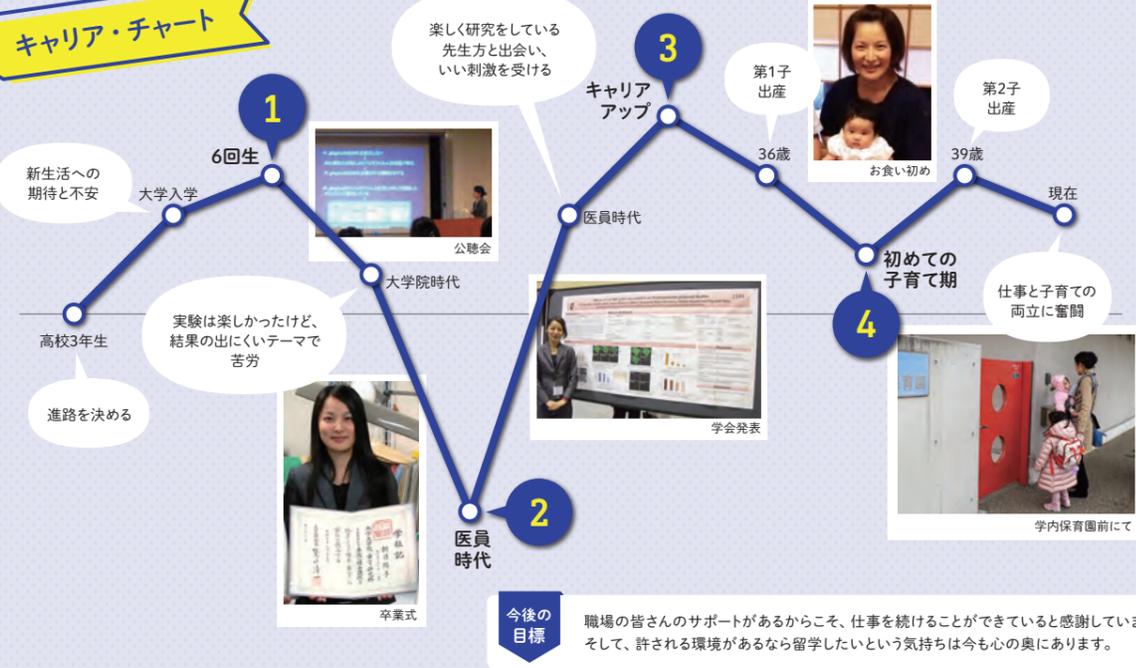
大阪大学歯学研究科 助教
大阪府立北野高校普通科
大阪大学歯学部歯学科
大阪大学大学院歯学研究科博士課程
大阪大学歯学部附属病院 医員
同附属病院 助教
大阪大学歯学研究科 助教

研究内容



虫歯や歯周病の主因は、歯の表面に形成された細菌の集合体(バイオフィルム)です。この細菌集団の詳細な解析やバイオフィルムの実験モデルを開発し形成メカニズムを解明するなど、新たな抑制法の確立を目指しています。

キャリア・チャート



1 憧れの先生との出会い

臨床実習で大変かわいがってくださった女性の先生が、学位取得後も大学に残りバリバリと働く姿に憧れ、先生の所属する教室で大学院に進学することを決断。シニアの女性の先生が他教室よりも多く在籍しており、研究職には女性が長く働きやすい環境があるのではないかといい思いにつながりました。

2 将来像が定まらない

研究を続けていけるのか、このままいいのかという不安と迷いで苦しんだ時期です。また留学したいと思いつつ、機会に巡り会うこともなく時間が過ぎていきました。今思えば、もっと積極的に行動するべきでしたが、自分に自信を持つことができず、一步を踏み出せませんでした。

3 キャリアアップでモチベーションが上昇

「このまま研究を続けたいのよ」「もっと頑張らなさい」と背中を押していただいているような気分になりモチベーションが上昇。以来、心の中で数年ごとの目標を立て、それを実行できるように心掛けてきました。出産後は目標達成が足踏み状態にありますが、これから挽回していきたいと思います。

4 子育てと仕事の両立を目指す

子育ては予想していたよりもはるかに大変で、特に子どもという時間はほとんど育児に費やすことになり、時間の大切さを実感しました。また、初めてのことで精神的に余裕がなく、加えて体調があまり良くなかったこともあり、気持ちりが空回り。二人目出産後の方が精神的にも体力的にも余裕があります。

企業の研究者の場合



田口 麻衣 Mai Taguchi

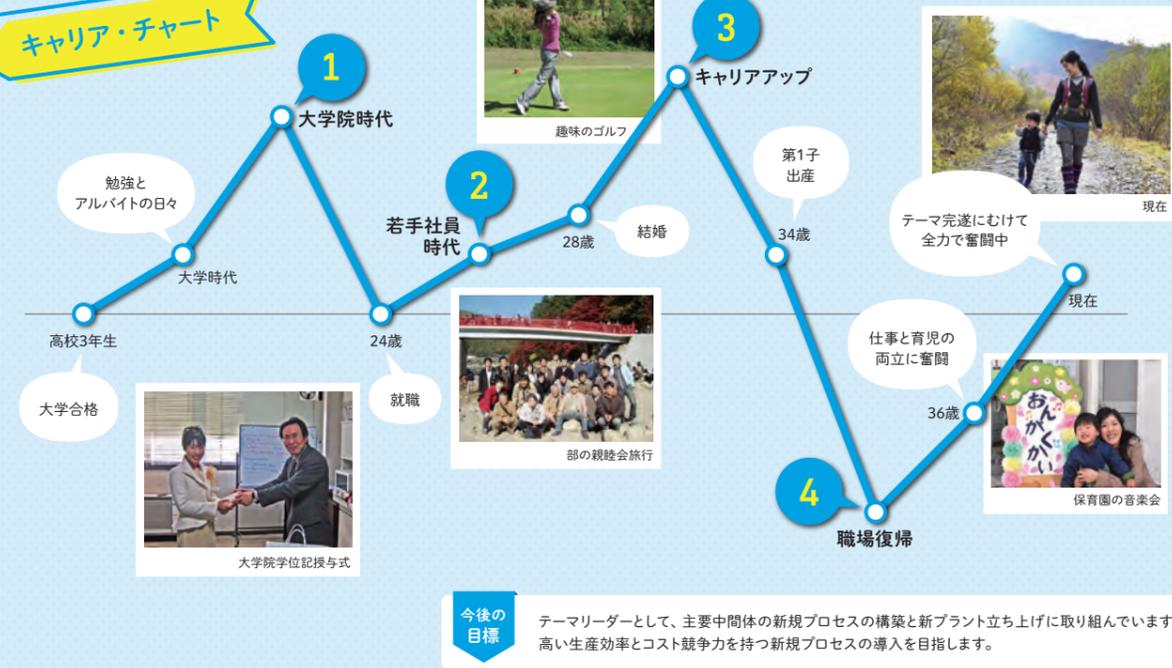
ダイキン工業株式会社 化学事業部 プロセス技術部
大阪府立三国丘高校普通科
大阪大学理学部化学科
大阪大学理学研究科化学専攻博士前期課程
ダイキン工業㈱ 化学事業部 プロセス技術部

研究内容



化学事業部の主要製品の基本原料についての新規製造プロセスの構築に取り組んでいます。さまざまな課題を本質的に解決するために原料や反応方式を全く新しい物に変えて製造する方法の確立に挑戦しています。

キャリア・チャート



1 化学の楽しみを知る

錯体化学研究室で充実した研究の日々を送ることができました。当初はなかなかつれず苦労した単結晶が、偶然の作業でできたことをきっかけに一気にテーマが広がり、実験が楽しくなった感覚は今もはっきり覚えています。当時の経験が「化学に携わる仕事は楽しい」と思える自分の基盤になっています。

2 プロセス開発の基礎を学ぶ

理学部出身のため化学工学の知識が全く無く、当初は製造部に近い技術部門の仕事に携わることになり不安がありました。しかし「最初の5年は勉強」という部長の言葉に勇気づけられ、製造課題に関するテーマや新規プロセス構築のテーマについて、楽しくのびのびと検討することができました。

3 仕事の価値を実感する

製造の課題解決方法を実験で検討し、初めて現場へ。2カ月の試運転を行い、狙い通りの効果を確認。試運転後に製造部より「この方法を導入すると危険作業が無くなり本当に楽になる」との言葉をいただき、今後も作業負担の低減を意識したプロセス開発をしようという価値観を得ることができました。

4 育休からの職場復帰

保育園入所の関係で出産後5カ月で職場復帰。時短勤務と初のテマリーダーという二つの要素で働き方が変わり、仕事が進められず試行錯誤の日々を送りました。子どもの発熱や自身の体力の低下など身体的にはかなり辛い時期でしたが、やはり子どもの存在は大きく、頑張ることができました。

今を生き、 未来を創るメッセージ

楽しいばかりではなく、苦しいばかりでもなく。
ひとりではなく、共感し応援してくれる人たちもいる。
研究というライフワークと真っすぐに向き合う、
5人の研究者からの発信です。

- 今井 薫 大阪大学理学研究科 准教授
- 中江 文 大阪大学生命機能研究科 特任教授(常勤)
- 杉山 由恵 大阪大学情報科学研究科 教授
- 仲田 佳弘 大阪大学基礎工学研究科 助教
- 大久保 宏美 ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター ZEB・エネマネグループ



Role model 01

今井 薫 Kaoru Imai
大阪大学理学研究科 准教授



研究者以外の自分を
想像できません。

私立同志社高校
↓
京都大学理学部
↓
京都大学理学研究科修士課程
↓
京都大学理学研究科博士後期課程
(日本学術振興会 特別研究員DC)
↓
日本学術振興会 特別研究員 PD
↓
カリフォルニア大学バークレー校ポスドク
↓
京都大学理学研究科 研究員
↓
京都大学理学研究科
グローバルCOE生物多様性特別講座 助教
↓
日本学術振興会 特別研究員 RPD
↓
大阪大学理学研究科 准教授

父や叔父の影響を受けて研究者の道へ

父が自然科学系の研究者だったことから、自然や研究の話を聞きながら育ちました。また、叔父が野鳥や星に詳しく、その影響もかなり受けたと思います。この道に進む以外の選択肢を考えたことはありませんでした。

私はホヤという生き物を使って、受精卵からどのように体が作られていくかという発生生物学の研究をしています。ホヤは、私たち脊椎動物と共通する特徴を多く持つ一方で、脊椎動物に比べてゲノムが単純で、実験動物として優れた特徴を備えており、ホヤ胚で遺伝子の研究を効率的に進められます。また、ホヤ胚のような原始的な脊椎動物の発生様式を推測することもできます。今の研究をさらに発展させ、脊椎動物がどのように進化してきたのか、分子レベルで明らかにすることを目指しています。

思ったような実験結果が出た時、思ってもいなかったアイデアが生まれた時はとてもうれしく、一つの形に成果がまとまり、論文に

なるとほっとします。研究者以外の自分が想像できないので、やはり研究者になって良かったと思います。

支援制度をうまく利用して

当然だと思っていた道とはいえ、現在の職に就くまでは任期付の職ばかりで、落ち着いて研究する環境がなかなか得られず、研究者としての厳しさを味わいました。

四人の子どもを出産したのもまだ任期付の時、上の三人は半年育休を取ることができましたが、四人目の時は出産後3カ月で復帰しました。今にすればもう少し長く取っても良かったのではないかと思います、仕事の中断は考えませんでした。研究から離れたくないという強い思いだけでなく、現実的な問題として四人も子どもがいると経済面で私が働かないという選択肢はありませんから。

出産・育児による研究中断後の現場復帰を支援する日本学術振興会特別研究員RPDの制度を利用しましたが、子どものいる女

性にとっては非常にありがたい制度です。これからはさらに支援制度が整備されると思いますので、うまく利用して研究を続けてください。

お気に入り?

自宅の庭で飼っている毛色が茶と白のうさぎ。眺めているだけでもいつも癒される。



ストレス解消は?

食べることで寝ること。人が生きる上での基本だがこれに勝る解消法はないと思う。



利用している(した) 大阪大学の制度・施設

詳しくはP20へ

研究支援員制度

中江 文 Aya Nakae

大阪大学生命機能研究科 特任教授(常勤)



痛みのある人を
楽にあげたい。

- 大阪府立天王寺高校普通科
- 大阪大学医学部医学科
- 市立豊中病院麻酔科 医師
- 大阪大学医学部附属病院 医師(麻酔科)
- 大阪大学医学系研究科 助手
- 同研究科 助教
- 同研究科 特任准教授(常勤)
- 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任准教授(常勤)
- 大阪大学生命機能研究科 特任准教授(常勤)
- 脳情報通信融合研究センター 主任研究員
- 大阪大学生命機能研究科 特任准教授(常勤)
- 同研究科 特任教授(常勤)

研究テーマは「痛み」と「ロボット」

幼い頃から体が弱く、よく病院に連れて行かれました。やがて、自分と同じようにしんどい思いをしている人を楽にあげたいと思うようになり、お医者さんになろうと決めました。好きにすればいいという感じだった父も、大学に合格した時はとても喜んでくれました。

現在の研究のテーマは「痛み」と「ロボット」。痛みは主観的なものと定義されており、治療も本人の痛いという訴えに対して行われます。しかし、痛みは実はあいまいな感覚で本人もどのくらい痛いか分かりにくく、ましてや他人に正確に伝えることは困難です。米国では麻薬性の痛み止めの使い過ぎによる死亡が社会問題になっていますが、痛みの客観的な物差しができれば、その一部は解決できるかもしれません。さらに、人とロボットが深く関わっていく中で、人に親和性の高いロボットの開発をしようという研究を行っています。

選んで研究者を志したわけではなく、目の前の課題に取り組んでいるうちに研究者になっていました。達成感というような大きな感覚ではありませんが、毎日小さな成功と失敗を繰り返して、たまに一息ついた時はやはり満ち足りた気分になります。

苦しい時も自分の価値観を大切に

出産時、産休を取りましたが、子どもの相手で一日があっという間に過ぎ、気が付けば復帰。以前と同じように働けるか不安でしたが、まだ産休が一般的でない中、職場の皆さんが気遣ってくれて、たぶん私も自分の一生の中で一番頑張った、仕事を継続できたと思います。一方で足りないところを指摘され、悔しい思いをしたことも。他の賢い女医さんたちになぜうまく生きられないんだろうと思いつつも悩んだこともありましたが、私はバランス感覚が無く、たくさん失敗もして、周りの人にたくさん助けってもらってきました。職場の同僚、そして子どもを含め家

族には本当に感謝しています。今は職場の他の女性に自分のスタイルを押し付けられないように気をつけています。それぞれの価値観を大事にしてもらいたいと思います。

族には本当に感謝しています。今は職場の他の女性に自分のスタイルを押し付けられないように気をつけています。それぞれの価値観を大事にしてもらいたいと思います。

お気に入り?

便利家電。頑張らなくてもきれいになったり、おいしく作れたりするとうれし!



ストレス解消は?

スポーツジムで頭が真っ白になるまで自分を追い込める。スッキリしてリセットできる。



利用している(した)

大阪大学の制度・施設

詳しくはP20へ

- 研究支援員制度
- 学内保育園

杉山 由恵 Yoshie Sugiyama

大阪大学情報科学研究科 教授



研究の世界は
Fair(公平)です。

- 愛知県立豊橋南高校普通科
- 津田塾大学学芸学部数学科
- 早稲田大学理工学研究科 物理学 及 応用物理学専攻修士課程
- 早稲田大学理工学研究科 物理学 及 応用物理学専攻博士後期課程
- 早稲田大学理工学研究科数学科 助手
- 津田塾大学学芸学部 情報数理科 専任講師
- 津田塾大学学芸学部 情報数理科 助教
- Max Planck研究所 訪問研究者
- CompuTese大学 訪問研究者
- 津田塾大学学芸学部数学科 准教授
- 大阪市立大学理学研究科数学科 教授
- 九州大学数理学研究院数学科 教授
- 大阪大学情報科学研究科 教授

数学の力で医療分野に貢献するために

数学の一分野である非線形偏微分方程式論を専門とし、現在は、異分野融合研究によって医学的課題に数理科学的アプローチで取り組んでいます。医師の治療に役立つ医療機器開発やそのための礎となる学問の創出は目標の一つ。数学の力が、医師の日々の治療や患者さんのQOL向上に貢献する日が来ることを夢見ています。また、数学定理は塗り替えることができない真理をつまびらかにします。こうした定理を創出し続けていきたいと考えています。

議論の中から築かれていく友情

異分野融合研究では、医学・生体医工学の先生方と国籍・年齢・人種・専門を超えて真理の追究を目指し、議論を交わします。研究者同士の信頼関係が構築されていくこの時間をとても大切にしています。広がっていく人間関係や築かれる友情に人生の豊かさを感じます。また、数学研究には時間を要します。

体力も忍耐強さも必要。そうして論文を仕上げ、学術誌に投稿し、掲載が決定した時の充実感や達成感は何ものにも代えられません。

憧れから充実の仕事一色の日々へ

数学の研究者を目指そうと考え始めたのは、高1の春。先生から博士課程に籍を置く教え子の研究生生活の様子を聞くうちに「博士課程進学」への憧れを抱きました。数学・物理学・化学も興味深く、学年が上がるごとにその憧れは強いものになっていきました。

異分野融合研究を開始した頃、また現在も研究室に泊まり込むことは少なくありません。独身ということもあり、仕事一色の生活を送っています。離れて暮らす家族からは食料品を送ってもらったり、身体の心配をしてもらったり、精神的に支えてもらっています。

ライフワークとのバランスには多様な選択肢があると思います。私自身は女性であることを不利に感じたことはありません。研究の世界はFair(公平)です。特に数学は、自分

自身の力と頭脳で世界を切り開いていくことができる分野です。そこに身を置ける私は、素晴らしい同僚に囲まれ、研究者になって良かったと思いつける日々を過ごしています。

最も影響を受けたのは?

欧州でのサバティカルリープ。その時出会ったドイツ人教授との数学を通じて生まれた絆は人生の財産。



お気に入り?

研究室のアロマディフューザーと加湿器とポトル。研究室での滞在時間が長いので気分転換に。

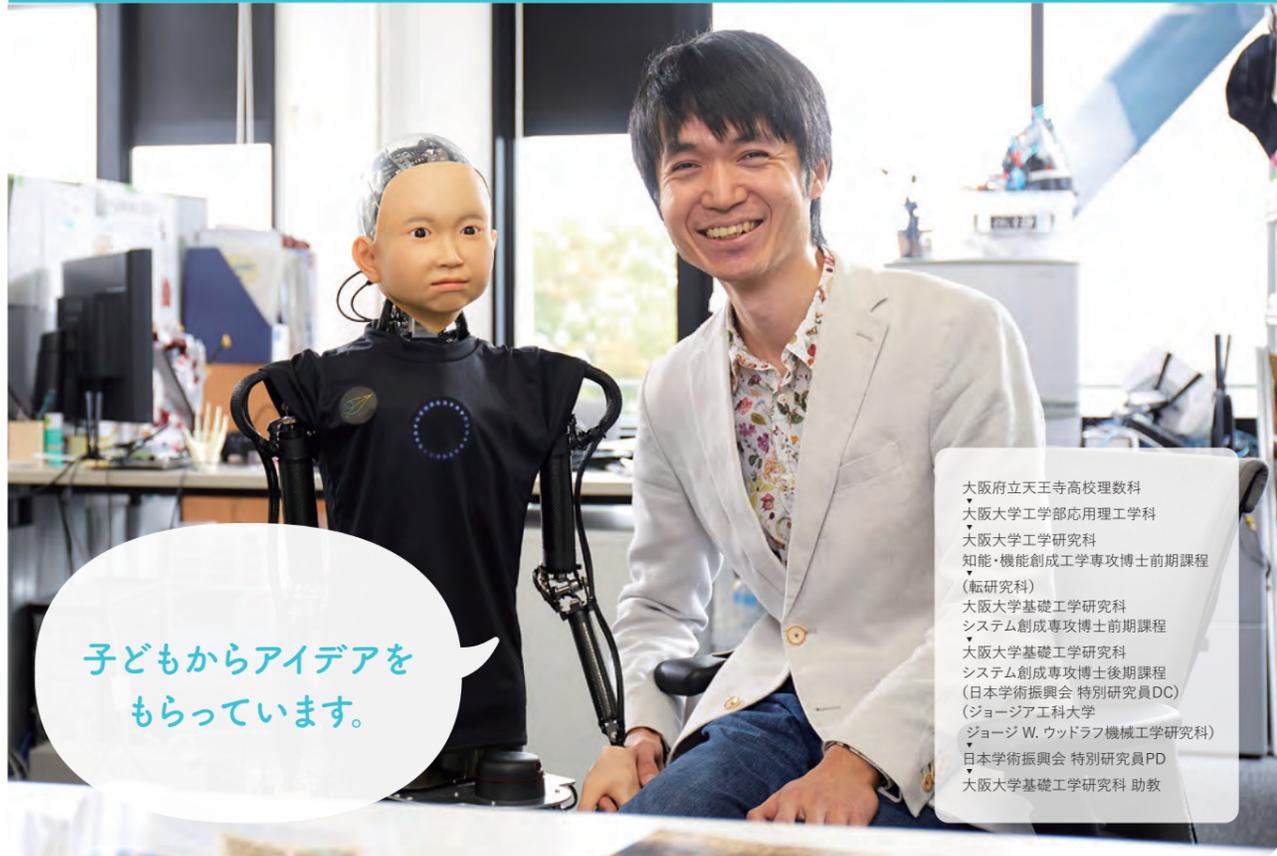


ストレス解消は?

フィットネスジムでの筋トレ。小学校・中学校時代は体操部だったこともあり、筋トレのものが好き。



仲田 佳弘 Yoshihiro Nakata
大阪大学基礎工学研究科 助教



子どもからアイデアをもらっています。

大阪府立天王寺高校理数科
大阪大学工学部応用理工学科
大阪大学工学研究科
知能・機能創成工学専攻博士前期課程
(転研究科)
大阪大学基礎工学研究科
システム創成専攻博士前期課程
大阪大学基礎工学研究科
システム創成専攻博士後期課程
(日本学術振興会 特別研究員DC)
(ジョージア工科大学
ジョージ W. ウッドラフ機械工学研究科)
日本学術振興会 特別研究員PD
大阪大学基礎工学研究科 助教

身近で見られることがやりに

人は子どもにやさしく触れるような動作と重いものを持つような動作を両立できますが、このようなロボットには難しい動作を実現する駆動装置や機構を研究しています。最近では、生活空間内を動き回ることができる人そっくりの子ども型アンドロイドの研究開発にも取り組んでいます。人らしい見た目と動きを持つロボットが、人と時間や空間を共有することで、人から信頼を得たり、親近感を向上させたりできないか調べています。

ちょうど子どもが生まれた年に新しいアンドロイドの開発を始めました。私が子どもと遊びたいと思うようになったので、土日に仕事をしなくて済むように調整するようになり、一緒に過ごす中で多くのアイデアをもらっています。最近では、子どもがこのアンドロイドのことを知っていて、「パパの(口)ポット!」と言ってくれます。身近で見られる人がいることは、やりにつながります。

同僚や子どもの成長に助けられて

研究室から歩いて1~2分の学内の保育園を利用して、安心感につながっています。それでも子どもが病気になった時は大変でした。特に、入園直後はどうしても病気になりやすく、途中で迎えに行くこともしばしば。研究室に同じくらいの年の子どもを持つ教員がいるため相談もしやすく、子どもの病気などで急に帰宅しなければいけない時でも柔軟に対応してもらっています。職場と同じ境遇の人がいるかどうかは大事だと思います。2年目になると免疫がつき、大きく体調を崩すことも少なくなってくるので、あまり深刻にならない方が良いでしょう。「強くなったなあ」と子どもの成長を喜んでます。

家事も育児も任せっきりにしない

家庭では、登園の準備と家事の一部、保育園の送りをしています。研究はいつ結果が出るか分からないものなので、どうしても長時間勤務になってしまいがち。余裕のある時

は、迎えに行ったり、食事の準備をしたりするようにしています。家事も育児もお互い任せっきりにしないで夫婦二人で分担するのが、私たちの普通の暮らしです。

最も影響を受けたのは?

こだわりを持つことの大切さを教わった小学校の先生。指導を受け描いた絵は「奇怪な機械」。



ストレス解消は?

ものづくりや工作。ロボットの研究開発でも部品がそろって組み立てる時が一番幸せ。



利用している(した)
大阪大学の制度・施設

詳しくはP20へ

学内保育園

大久保 宏美 Hiromi Okubo
ダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンター ZEB・エネマネグループ



世界は可能性に満ち、
たくさんの
選択肢がある。

私立親和女子高校普通科
関西学院大学総合政策学部
都市政策学科
大阪大学工学研究科
環境・エネルギー工学専攻博士前期課程
ダイキン工業(株)
テクノロジー・イノベーションセンター
ZEB・エネマネグループ

建物の3DCADデータ化を高速かつ正確に

建物のCADデータは、空調メーカーにとって設備設計を行う上で不可欠ですが、実際の多くの建物にはCADデータはおろか図面さえも存在せず、現地調査員が多大な工数をかけて作成しています。そこで、今、大阪大学の先生方と一緒に建物を高速かつ正確にスキャンし、3DCAD化する研究を行っています。空調設計を行う人の作業を少しでも楽にしたいと日々取り組んでいます。

何をすべきか、何ができるのか迷いの日々

私は研究者歴がまだ2年にも満たないのですが、研究はとてつもない視点で物事を捉えているものだと思います。もしかしら研究の方向性を示すことは、時代の流れを決めることなのかもしれません。そのような視点を持てるようになり、その場に関わっていけるのは研究者になったからこそだと思います。しかしながら、研究の目的やゴールが明確にならず辛い時期もありました。何をすべき

か、何ができるのかも分からず、動こうにも動けませんでした。ただそういう時は圧倒的に知識や経験が足りないだけだと思い、参加できそうな講演会やセミナーなどは全部行くと決め、自ら答えを探しました。できるだけいろいろな所に出かけ、さまざまなものを見て、たくさんの人に会って話すことが必要でした。

いろいろな可能性を示し、体現していきたい

これから研究の分野の境目はどんどん薄くなり、さらにごちゃ混ぜになるのではないのでしょうか。だから、未来の自分がどのような研究をしているのか、今の延長線上か全く違う分野なのか、予想もつきません。ただ一人の研究者としていろいろな可能性を示していきたい。こんな事もできるよ、こんなに希望があるよと世界に見せ、自身で体現していきたいと思います。

研究者を目指す女子学生の皆さんに伝えたいのは、人から聞いた話や噂だけで判断しないで、自分の目で見て自分の感覚でこれだ!

と思った方に進んでほしいということ。答えは実は無限にあり、それを解き明かす方法も無限にあるはず。女性の鋭い感覚を活かしてオリジナルな研究者になってください。

最も影響を受けたのは?

ニューヨーク。個性豊かな人々を見て、いかに自分が狭い世界で生きてきたかを思い知った。



必需品は?

炊飯器。東京での1か月研修に持ち参り驚かされたが私にとっては「炊きたてご飯」そのものが必需品。



ストレス解消は?

とにかく体を動かす! 頭でいろいろ考えていることを一度ストップさせるとスッキリする。



研究者って、どんな感じ？

あれも 知りたい座談会 これも



結果が出なくても、育児で迷いが生じて、続けることが大事。

やわらかい佇まいの中に熱い探究心を抱く女性研究者と、
まだ期待と不安が入り混じる女子学生。
道しるべを説き、探りながら、
研究者としての未来に共に思いをはせました。



面白そうだから、
どうしてもやってみたかったから、
研究者に

山口 大学で理系に進んでから今の研究者になる間には、ハードルがあったと思いますが、いかがでしたか。

下野 そもそも研究者ではなく、医師になりたかったので、今でも附属病院で診療しています。小児の神経疾患は治らない病が多く、進行していくのを見続ける中で治療したいと思うようになりました。新たな研究をしないとプレイクルーは生まれないと。

山口 医師である先生は、授業と研究、または診療のどちらかなのだと思っていました。

下野 人とマウスは絶対に違うし、さらに子どもとおとなの社会性は違います。そこは臨床をやっていないと分からないと思いますね。研究の速度は確実に遅くなりますけどね。

久世 私は中学校の先生に「研究系の仕事が合っていそうだね」と言われてからずっと頭の中にあっただけで就活にも身が入らず、「まっ、いいか」みたいな感じで選びました。

平原 4年生でこの研究は面白そうだと思い修士課程に進んだけど、その研究が終わらなかったから、さらに先に行くしかなかった。そんな興味の延長での選択だったので、ハードルはそんなに感じませんでした。

佐野好きなことを選んで後悔はありませんでしたか。

平原 だめだった時に別の道を考えればいいと思っていました。

佐野 研究者として苦しかったことや辛

かったことはありましたか。

下野 研究者としては最先端のものにいつも触れておきたいという思いがありますが、子どもが小さい時にはなかなかそうはいきませんでした。

佐野 学内に保育園などの施設ができて、変わってきていると思いますが。

平原 学内の保育園は、生まれる前に申し込めることと0歳児の定員が多いのでうれしいですね。出産後すぐに復帰したい人は、助かっていると思います。

佐野 研究でスパイラルに陥るとうまく抜け出せないことがあるのですが、そのような時の克服法を持っていますか。

平原 共同研究者をたくさんつくることですね。独立して研究しているとだんだん世界が狭くなるから、学会などで違うアプローチの方法を持っている人などを見つけておくといいですよ。あと女子によくある傾向として、とにかくおしゃべりして解決したような気分になること。さらに話しているうちに解決の糸口が見えてきたりします。

山口 研究は終わりが無いものだと思いますが、先の見えないしんどさを感じたことはありますか。

平原 おそらく研究の5割以上は先が見えないもの。やってみて先が無いと分かる一旦立ち止まって過去のデータを整理してみるなど、ある程度で区切りはつけます。

下野 その時の立場（任期付など）にもよりますが、研究職はある程度自分でマネジメントできるので、それはメリットだと思いますね。お客さんに合わせてスケジュールを決められるわけではないので。

久世 企業のインターンで経験したこと

ですが、上から自分のやることを決められる窮屈さを感じました。よく言われるように歯車になってしまったと思いますね。大学の研究者は確かにマイナス面もありますけど、プラス面もたくさんあると思います。

育児で生活が変わるのだから、
気持ちも実験計画も変えればいい

佐野 女性研究者ならではのメリットやデメリットはあると思われませんか。

平原 世代によるかも。40代より若い人は環境が整ってきているように思います。反対に上の世代からはいろいろ聞きます。女性は大変だったとか。

山口 確かにマイナスな話はあまり聞きませんが、生命機能は多い。全般的に理系の女性研究者は増えていると感じています。

久世 こういう場によく呼ばれますが、女性だから特に困ったことは、正直あまりありませんね。

平原 すでに時代が、女性だからこの道、こうすべきと定義するフェーズにはないと思います。

佐野 中学・高校の先生、親や親戚など周りの大人の影響は大きいと思います。周りに反対されなければ、結構高い確率で理系は選ばれるはずですよ。

下野 私は今考えるとおかしいと思うような環境でやってきましたね。例えば、夜勤では二段ベットが並ぶ同じ部屋で男性医師のとなりで平気で寝ていました。今は環境も整い、女性がデメリットを感じる事が無くなってきたのは、いいことだと思います。



Kuriko Kagitani-Shimono

下野 九理子

大阪大学連合小児発達学研究所
小児発達学専攻
准教授

大阪府立茨木高校普通科
香川医科大学医学部医学科
大阪大学医学部附属病院
小児科入局
(箕面市立病院研修医)
大阪大学医学部 研究生
愛染橋病院 医員
大阪大学医学部附属病院 医員
大阪大学医学部 研究生
米国ノースカロライナ大学
医学部病理学研究室
リサーチフェロー
大阪大学医学系研究科 助教
大阪大学連合小児発達学研究所
助教
同研究科 講師
同研究科 准教授



Kaori Hirahara

平原 佳織

大阪大学工学研究科
機械工学専攻
准教授

愛知県立一宮西高校普通科
名古屋大学工学部応用物理学科
名古屋大学工学研究科
応用物理学専攻博士前期課程
科学技術振興事業団
国際共同研究事業 (JST-ICORP)
ナノチューブ状物質プロジェクト 研究員
名城大学 研究員
名古屋大学理学研究科
博士学位取得
名古屋大学エコトピア科学研究科
研究員
大阪大学工学研究科 助教
同研究科グローバル若手研究者
フロンティア研究機構 講師
同研究科附属
アトミックデザイン研究センター 准教授
同研究科 准教授



Naomi Kuze

久世 尚美

大阪大学基礎工学研究科
システム創成専攻
助教

岐阜県立岐阜高校普通科
大阪大学基礎工学部
情報科学科
大阪大学情報科学研究科
博士前期課程
大阪大学情報科学研究科
博士後期課程
大阪大学情報科学研究科
特任助教(常勤)
大阪大学基礎工学研究科
助教



Moe Sano

佐野 萌

大阪大学工学研究科
地球総合工学専攻
博士前期課程 2年

大阪府立天王寺高校理数科
大阪大学工学部
地球総合工学科
大阪大学工学研究科
地球総合工学専攻博士前期課程
民間企業入社予定



Tomoko Yamaguchi

山口 智子

大阪大学生命機能研究科
生命機能専攻
博士前期課程2年

茨城県立竹園高校国際科
大阪大学理学部物理学科
大阪大学生命機能研究科
生命機能専攻博士前期課程
大阪大学生命機能研究科
生命機能専攻博士後期課程
進学予定





平原 おそらく男女という観点で差を感じるの、出産した時くらいかな。あとは夫婦で家事の分担をきちんと決めておくべき。授乳以外は、どっちが何をやっても同じような気がします。

下野 ジレンマを感じたとすれば、育休も取らずに頑張っていたのに、一人目を産んだタイミングでポストが無くなった時ですね。子どもは2カ月に一度は熱を出す、小児科医なのにと実家の母に怒られる、体力はない、成果は出ない、論文は出せるのかなど八方塞がりでした。

山口 私の周りの子どもを持つ皆さんは、朝7時に出て夕方5時には割り切って帰る。私なら実験を続けたくて、定時には帰れないんじゃないかと思いますが。

平原 子どもができればできるようになりますよ。5時半にはお迎えに行っても夜10時まで自分のことは何もできず、結局そのあと疲れて寝てしまう。だから、その時間内で可能な実験計画を立てるようになります。それで落ち込むかということでもなくて。限られた時間で成果は出すべきなんです。

山口 どの研究所でも育児中は5時に退社というように配慮してもらえるものな

のですか。

下野 研究職は成果主義だから、時間内にこれだけのことをやりますと見せるべき。でも、家に帰って「おかあさん！」と言われると、さっきまで実験で悶々としていたことは忘れないといけないので、逆に精神的にはいいですよ。

平原 生活が変わっているのに前と同じようにと考えるから、ストレスになるのでしょうか。

キャリアアップのためには、常にできることを見える化しておくこと

佐野 キャリアアップを実現するには、どのような心がけが必要でしょうか。

下野 子ども連れて留学した時、私の悶々とした状況を見たある高名な女性の教授に「やめないことよ」と言われました。研究も臨床も今は細々でもいい、やる価値があると思ったことを続けていくことが大切だということでした。さらに「そのキャリアがあるのに家でご飯を作っているの？」と驚かれたことも。さぼっていいんだと気分的に楽になりました。

山口 目指すポジションがいいタイミン

グで空くわけではないですよ。待っている間は、ポスドクなどの経験を積んでおくということですか。

平原 プロジェクトなどでやりたいことを見つけて、「これができます」とアピールしておく次のポジションが見つかりやすいと思います。

山口 推薦されるのを待つのですか。または常に自分でアンテナをはっておく？

平原 基本的には自分で探しますが、声がかかる時もあります。

山口 ポスドクでどれくらい働かなければ准教授になれないみたいな基準はありますか。

久世 ポスドクの長さは関係ありません。先生に自分が何ができるか見える化しておくことが大事だと思います。

佐野 業績と面接で判断されるのですか。

久世 やはり業績が第一で、さらにその研究室の方向性にあっているかですね。

平原 履歴書の業績リストも大事ですが、普段から学会で見かけて、どんなスキルを持っているか、議論がしっかりできるかなど分かっている人がいいですね。

山口 学会って大事なんですね。

平原 もちろんです。何ができるかを学

会でアピールしておくことで、キャリアアップにつながりやすくなります。

山口 海外でのポスドク経験はアドバンテージになりますか。

下野 留学時に耳にしたのは、日本のポジションが少ないので海外でポスドクをしながら、日本でポジションが空くのを待っているという話でした。

山口 その話を聞いて納得しました。研究環境としては日本はいいわけですね。

平原 いいですよ。ただ恩師から「今の研究を違った角度から見られる研究室をいろいろわたってみるのがいい」とアドバイスされました。今は学際領域という異なる分野の両側から再構築する研究も増えていますし、視野を広げるために必要だと感じるなら海外留学を選択する考えも有りだと思います。

研究者向きの人とは、研究者にとって大切なこととは

佐野 私の分野では男女ともに博士課程に進む人があまりいません。憧れはあるものの、近くに話を聞ける人がいなかっ

たので、私にとって大変意味のある時間になりました。

山口 私は今の研究を続けたいので博士課程に進むのですが、周りはドクターに対して消極的な考えが多くて、ちょっとだけネガティブ思考に向いていました。でも、皆さんがいい意味でそんなに深く考えないでここまで来たということが分かり、心が軽くなりました。

下野 どの職業についても苦労や成果が出ないことはあるはず。それでも、これはやる価値がある、面白いからやると思える人は研究者向きですよ。

平原 何を研究すればいいのか分からず悩んでいた時に、叱ってくれた方がいました。「面白くなさそうなら自分で面白くするのが研究者」と。ドクターを取るのはそのための基礎体力をつけるということ。

久世 以前「女性視点で研究すればいいのでは」と言われたことがありますが、それは女性ということではなく、個々人の視点の問題だと思います。自分がそうありたいと思っていることでもあるのですが、研究者として自分に何ができるか

を問い続けていきたいですね。

下野 研究者は切り替えが早いことも大切です。やれと言われてずっと取り組んでいたのに、やっぱり何も出そうにないから忘れてとあっさり言われることもありますから。

佐野・山口 あります！誰でもあるんですね。

下野 その先に進んでも何もないのであれば、それは英断です。そこでこれまでの私は何だったのと同じウジウジするのはなく、時間をもったいないと次にやることをさっさと決めるくらいの切り替えができないと研究者はしんどいですよ。

佐野 確かに効率のいい人は切り替えが早い人だと思います。私は今は英断はできませんが、できるようになりたいと思います。

下野 経験でしょうね。

平原 主観ではなく俯瞰で見られるようになっていきます。すべては訓練と経験ですね。だからこそ、研究を頑張って続けていってほしいと思います。

佐野・山口 本日はありがとうございました。



各機関の取組

大阪大学

研究支援員制度

出産や育児、介護等で研究時間を十分に確保できない研究者のために、研究支援員(大学院修了者や学生等)を雇用・配置し、研究活動を支援。

学内保育園

総定員185名の三つの学内保育園を運営。早期保育、延長保育、土曜保育も実施。



男女協働推進センターコラボレーティブ・スペース

女性教職員や女子学生の自由な交流の場、女性研究者の研究交流や女子学生のネットワークを促進する場として利用できるスペース。



産学共創教育事業

2019年度よりダイキン工業とともに、産学共創によるさらなる女性活躍推進をめざし、女子大学院生と企業の社員が同じ教育プログラムを受講する「女性エンジニアリーダー育成プログラム」と「育休中キャリアアップ支援プログラム」を開始。

次世代の女性研究者育成

女子大学院生の育成、研究力向上と博士後期課程への進学後押しとして、「女子大学院生と企業等との交流会」を開催。また、未来の女性研究者や女子学生の育成・裾野拡大のため、女子学生の企画・協力のもと、女子中高生の理系進路選択を応援するイベント「理女フェス」も開催。

病児・病後児保育室

医学部附属病院の看護師宿舎に保育室を設置し、医学部附属病院小児科医師と連携して、看護師・保育士が常駐する環境で病児・病後児を保育。

一時預かり保育室

吹田・豊中・箕面の全キャンパスに保育室を整備し、保育園ではカバーできない時間帯(早期・夜間・土日祝日等)の預かり保育を実施。ベビーシッターの利用料金を一部補助。

医薬基盤・健康・栄養研究所

女性研究者のスキルアップ支援

女性研究者を中心に、研究力向上、イノベーションにつながるデザイン思考ワークショップ研修やマインドフルネスを通し、高い専門的知識や能力を身につけ、リーダーシップ育成につながる研修を開催。

また、女性研究者の支援及び育成のため、上位職の女性研究者がメンターとなり、研究やキャリアアップへの支援を実施。

ダイキン工業株式会社

女性社員対象の研修機会を提供

他社の技術系女性と交流する「女性技術者ネットワークングフォーラム」、管理職・リーダー候補の女性を対象に、リーダーシップスキルを身に付ける「女性リーダー育成研修」など、さまざまな講演会や研修を実施。

働き続けられる環境の整備

育児休暇からのスムーズな職場復帰をサポートするために「保活&育休サポートセミナー」「育児休暇復帰者セミナー」を開催、保育所探しのサポートをする「保活コンシェルジュサービス」を提供。

在宅勤務、短時間勤務、フレックス勤務、時差勤務を織り交ぜた柔軟な勤務形態の選択肢を用意。

男性の育児休暇取得の推進の取組も実施。2017年度の男性社員の育児休暇取得率は、77.3%。(←2016年度 53.7%)

育児支援カフェテリアプラン

小学校6年生までの子どもを持つ共働きの従業員(及び母子家庭、父子家庭の従業員)を対象に、残業ピーク時や出張、子どもの病気など突発的な対応時に利用できるメニュー(ベビーシッターサービス、別居の親に子どもの面倒を見てもらうための交通費など)を定め、利用した場合、1家族につき年間20万円まで会社が費用を補助。



ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター

総長メッセージ

現代の大学は、従来からの「学問の深化」に加えて、「社会的課題解決への貢献」が求められています。大阪大学は、社会と共創する力を高め、社会的課題の解決に一層貢献できる世界屈指のイノベティブな大学を目指しています。このためには、男女協働を含むダイバーシティ&インクルージョンが不可欠です。

本学は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、ダイキン工業株式会社を共同実施機関として、2016年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されて以来、女性研究者に多様で発展的なキャリアパスを提供する、産学官連携の循環型育成を強化してきました。大学内だけで女性研究者を育成するのではなく、大学、企業、研究機関の壁を超え、開かれたかたちでの育成こそが重要だと考えています。

女性研究者循環型育成の柱の一つは、全国に先駆けた産学クロス・アポイントメント制度の活用です。また、国内外の大学、研究機関とのクロス・アポイントメントにおいても多くの女性研究者を受け入れ、これは国内大学トップクラスの実績です。複数の機関で活躍する女性研究者は、女子学生にとって憧れのロールモデルとなっています。

2018年度には、全国で唯一「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」に採択されました。本学は代表幹事大学として、女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む諸機関の「全国ダイバーシティネットワーク」の構築を推進します。

大阪大学は、多様な属性、多様な価値観、多様な文化的背景の違いがイノベーションを活性化させるという確信のもと、ダイバーシティ推進施策を強化し、心豊かな世界の創造に貢献していきます。

大阪大学総長 西尾章治郎

